

ペムブロリズマブ療法(3週毎)  
(キイトルーダ)

患者番号: 氏名: 性別: 年齢:

がん種(適応)	膀胱癌		
開始年月日	年	月	日
1コース期間	21日間		
体格	身長	cm	体重 kg 体表面積 m <sup>2</sup>
嘔気・嘔吐リスク	最小度	制吐剤	なし
特記事項			

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
キイトルーダ	200mg (200mg/body)	30分	Day1

【処方が必要な内服薬】

- HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
- HBs 抗原(-) →  HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) →  HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量
- HBs 抗体(+ )and/or HBc 抗体(+ ) →  HBV-DNA 定量(+ ) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_

免疫チンパクモノクローナル薬 副作用対応集

副作用	主な自覚症状	検査項目	ベラスチン (投与開始時) 〇実施		モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング	
			投与時	疑い時			
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	〇	〇	投与時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談ください。	
		胸部CT	〇	〇	疑い時		
		KL-6 Sp-D	〇	〇	2か月毎に2回		
内分泌障害	<b>甲状腺機能低下症</b> ：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など <b>甲状腺機能亢進症</b> ：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のはれ、胸がドキキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 <b>副腎機能不全</b> ：身体がだるい、意識がもうれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかす 食欲不振、低血圧、脱力感 <b>副甲状腺機能低下症</b> ：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りのしびれ	TSH・FT3・FT4	〇	〇	月1回	【甲状腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4で異常が認められた際、TSHレゾーター抗体、抗チログロリアン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト	
		抗チログロリアン抗体 抗TPO抗体 TSHレゾーター抗体 iPTH	〇	〇	〇		疑い時
		ACTH コルチゾール	〇	〇	〇		月1回
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	〇	〇	〇		投与時 疑い時
		CPK	〇	〇	〇		投与時
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、便もしくは黒クタール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛	ACHR抗体	-	-	疑い時	Grade2以上の下痢、便回数の増加が認められた場合（ベラスチンと比べ4～6回/日以上の上の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意 目が下がってくる（眼輪下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト	
		HbA1c カリアリニン 血糖 検尿（尿タンパク体） C反応性蛋白	〇	〇	〇		月1回 疑い時 投与時 疑い時
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶって見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	ACHR抗体	-	-	疑い時	血糖値が、急激に上昇した場合にコンサルト	
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	HbA1c カリアリニン 血糖 検尿（尿タンパク体） C反応性蛋白	〇	〇	〇		疑い時
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	〇	〇	〇	Grade2以上の皮膚障害	
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	HbS抗体・HbG抗体 HCV抗体	〇	〇	〇	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト 感染症がある方は3か月毎にDNA量を測定	
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT フィブリンゲン 心筋トロポニンT NT proBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	〇	〇	〇	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト	
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バイオサイツ	〇	〇	〇	左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト	
その他			〇	〇	〇	投与時	

※検査オーダーは検査キット、統合キットを作成していますので、そちらで使用してください

死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします